

大項目	中項目	評価項目	要求要件	評価区分	得点配分			審査基準		加点の採点
					合計	基礎点	加点	基礎点	加点	
0.	公募要領の遵守		公募要領に規定する業務の目的や作業事項に反し、又は矛盾する提案がないこと。	必須	5	5	-	公募要領に規定する業務の目的や作業事項に反し、又は矛盾する提案がないこと。	-	-
1.	業務の基本方針と目的		本業務の実施に当たっての基本方針と目的を記述すること。	必須	5	5	-	業務の目的を的確に理解し、妥当かつ具体的な基本方針であること。	-	-
2.	ライフスタイルの転換に関する取組の概要		ライフスタイルの転換に関する当該取組の概要と特長を記述すること。	必須	5	5	-	当該取組の概要について、分かりやすく、且つ具体的に記述されていること。	-	-
3. 業務の実施内容、方法										
	3-1. NEBの評価指標の設定		本業務の中で設定するNEBの評価指標について具体的に記述すること。	必須	15	5	10	本業務の中で設定するNEBの評価指標について具体的に提案されていること。	設定するNEBの評価指標が、当該取組の特長等を勘案した現実的且つ妥当なものになっており、更に事業成果を高めるための工夫が見られる。	
	3-2. 現地調査の実施内容、実施方法等		本業務で実施する現地調査の実施内容、方法等を具体的に記述すること。	必須	30	10	20	現地調査の実施項目、箇所、時期、手法(手順、計測方法、データ収集方法)等が具体的に提案されていること。	提案されている調査の実施内容、実施方法等が、業務目的を達成する上で現実的且つ妥当なものになっており、更に事業成果を高めるための工夫が見られる。	
	3-3. NEBの評価方法及び評価指標の妥当性の検証内容、方法等		NEBの評価方法及び評価指標の妥当性の検証内容、方法を具体的に記述すること。	必須	30	10	20	NEBの評価方法及び評価指標の妥当性の検証内容、方法(外部有識者による技術的助言を含む)が具体的に提案されていること。	提案されている検証内容、方法等が、業務目的を達成する上で現実的且つ妥当なものになっており、更に事業成果を高めるための工夫が見られる。	
	3-4. 二酸化炭素排出削減効果の定量的評価内容、方法等		NEBの評価指標に連動した二酸化炭素排出削減効果の定量的評価内容、方法を具体的に記述すること。	必須	25	5	20	NEBの評価指標に連動した二酸化炭素排出削減効果の定量的評価内容、方法が具体的に提案されていること。	提案されている評価内容、方法等が、業務目的を達成する上で現実的且つ妥当なものになっており、更に事業成果を高めるための工夫が見られる。	
	3-5. 取組の普及検討		取組の普及検討の内容について具体的に記述すること。	必須	10	5	5	取組の普及検討の内容が具体的に提案されていること。	提案されている内容に、事業成果を高めるための工夫が見られる。	
	3-6. 業務項目・内容の追加提案		公募要領「2.(2)②事業内容」で提示されている内容以外で、本業務目的を達成するために必要と考えられる業務項目・内容の追加提案があれば、具体的に記述すること。	任意	10	-	10	-	提案されている内容が具体的であり、業務目的を達成する上で現実的且つ妥当なものになっており、更に新規性、有用性がある。	
4.	業務の実施計画		提案する業務の具体的なスケジュールを記述すること。	必須	10	5	5	本業務の具体的なスケジュールが提案されていること。	業務目的を達成する上で適切かつ実行可能なスケジュールであること。	
5.	業務の実施体制		本業務の実施体制及び業務分担について、図を交えて説明すること。(責任者の氏名、役職、従事者の役割分担、従事者数、内・外部の協力体制、他機関との連携等)	必須	30	5	25	適切な役割分担により業務の実施体制が提案されていること。	業務を遂行する上で、効率的・効果的な人員配置、協力体制(外部有識者等)が構築されていること。	
6.	類似事業の実績		類似の調査、検証、評価業務を行った実績を記述すること。(年次、業務名、発注機関、業務内容等)	任意	5	-	5	-	類似の調査、検証、評価業務を行った実績が記述されていること。	-
7. 経理										
	7-1. 経費内訳		本業務の実施に要する経費の内訳を示すこと。	必須	15	5	10	提案の内容と矛盾のない経費が計上されていること。	効果的で効率性に優れた経費が計上されており、費用対効果が高い事業となっていること。	
	7-2. 経理的基礎等		業務を確実に実施できる経理的基礎を有すること。	必須	5	5	-	債務超過でなく、かつ利益が計上できている、又は事業実施のために必要な資金調達に掛かる確実な計画を有していること。	-	-
合計					200	70	130	加点合計		
										基礎点

基礎点部分の採点は、技術上の基準を満たす場合に、当該基礎点全部を得点とする。  
 加点部分の採点は、配点5点の場合、技術上の基準に基づき、優:5点、良:3点、可:1点、不可:0点、の4段階評価とし、配点に応じて係数をかけて得点を算出する。  
 基礎点がある項目に係る加点部分の「不可:0点」とは、基礎点の基準は満たす(基礎点は得点)が、加点部分の基準をなんら満たさない場合である。